



Share Rotary— Serve People

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 齋藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 72 名 出席 51 名 出席率 70.83% 前回出席率 80.82% 修正出席 63 名 確定出席率 86.30%

会 長 報 告

内山喜一君

本日は2月の最終例会です。まだ寒さの続く今日この頃です。

さて、会員でありました中村富昭さん（東北電気工事(株)鶴岡営業所長）が、この度酒田営業所へ転勤が決まり、退会が承認されました事をご報告致します。

ロータリー財団への協力ですが、第253地区では第1位が相馬ロータリークラブで、鶴岡ロータリークラブが第二位（6.100%）との案内がありました。尚、会員の皆様方に感謝を申し上げると共に、重ねてのご協力をお願い申し上げます。

会 員 ス ピ ー チ

ロ ー タ リ ー と 私



先達で森田プログラム委員長から「ロータリーと私」の題でスピーチをするように仰せつかりました。

その主題には二つのとらえ方があるかと思えます。一つは亡くなった早坂さんがよく仰言っていた「ロータリー哲学」に関するものと、もう一つは簡単に「私

とロータリーとのかわり合い」位の意味があるかと思えます。勿論私には、「ロータリー哲学」とは難解でありまして、他人に話をするものは何もありません。従って当然後者の意味にとって、私が入会以来のロータリーの私にかかわった出来事位の事でお茶をにごささせて頂きたいと思えます。

私が鶴岡R.C.に入会させて頂いたのは、齋藤栄作さんが会長だった64～65の年度でした。当時会員だった山形相互の渡部勝美現専務の御推薦でした。私と殆んど同時に佐藤忠さんが入会されたのを覚えております。今、当時の名簿を見ると、当時の会員では現在12人の方が残っているに過ぎません。又退会されて現在御丈夫な方も16～7人です。あれから丁度20年、月並みの云い方ですが、世の中のうつろいと云ったものに感慨無きを得ません。

入会当時の事を思い返しますと、一言にして云えば何が何んだかわからない。全く無我無中の一言でした。特にとまどったのは、やたらに横文字の多い事で、20数年横文字にとんと御不沙汰の身には全く

幹 事 報 告

齋藤 隆君

1. 福島西R.C.認証状伝達式のご案内
期 日 4月8日(日) 12時より
場 所 民報ビル ロイヤルホール
登 録 料 12,000円
申込メ切 3月15日 事務局まで
2. 財団法人ロータリー-米山記念奨学会より
58年度上期の寄付金明細表到着
3. 鶴岡青年会議所親睦マージャン大会開催のご案内
期 日 3月18日(日) 集合時間 1時
会 場 山王プラザ 会 費 3,500円
4名で1チームにして3月12日まで事務局へ申込

三 井 健 君

困りました。これは今でもそのままの状態です。

最初、未だに残っている思い出は、甥の三井玉男が南校3年在学中、私の入会翌年度の張さんが会長時代、アメリカ、ニュージャージーに当クラブ第一回の交換学生として渡米した事でした。余談ではありますが、玉男は当時一年間修得した英語が非常に役立ち、東芝入社後も対国際交渉に役立ててもらい、現在は夫婦と、子供三人を連れてニューヨーク支社に勤務しております。

愉快的思い出としては、張さんの会長時代に、安齋ガバナーの公式訪問で、例会後引き続きクラブフォーラムが行われたのですが、2時間の予定時間がなんと延々と続き、当時の莊司繁太郎さんが我慢しかねて「時間を厳守するロータリーが時間を守らないのはおかしい」と発言した処、安齋さんの激怒を買った事等、なんとなくおかしさの混じった思い出です。

翌年、早坂さんが会長時代、私は笹原桂一君の下に副幹事を勤めておりましたが、米国から第一回の交換留学生アイリン・エヤハルトさんが来日され、三井徹さんの所から北高校に通学致しました。彼女は非常にしとやかで、どちらかと云えば日本人以上に日本人らしさのある女の子でした。その後再度来日し、早稲田に留学し、現在は学者と結婚し、新聞記者となっているようです。

早坂さんは後にガバナーになられた方で、それだけロータリーには御存知のように非常に力を入れられ、創立8年の若いクラブにしては、各方面にロータリー活動の翼を拡げられました。当時地区内で3番目位で西クラブと共同スポンサーとなり、鶴岡西

庄内空港の建設を推進しましょう

高にインターアクトクラブも設立されました。

第10代の会長は石黒慶之助さんでした。未熟な私が幹事を仰せつかりました。今もってみると、石黒さんは御存知の性格、私は只々その驥尾に付するのみ、会長が幹事兼任でした。私は副幹事そのものでした。又、同年度はクラブ創立10周年に当り、石黒会長は随分前から色々計画をこらして、度々会長宅に集まって相談を致しました。当時集まったメンバーの中に現在残っているのは会長の石黒さん、副会長の三井徹さん、それに幹事だった私と三人だけです。式典は昭和44年6月10日に挙行されました。式典委員長は池内方平さんでした。場所は駅前農協会館の四階であったと覚えています。張さんの御努力で沢山の写真を飾り、彩を添えて頂きました。又、祝宴では都亭さんのサービスで、大変豪華な御馳走でした。当時まだ珍しい鯛の生き造り等が出て御客さんを喜ばせたような思い出があります。但し、一番喜んだのは私共があとで「ひさご」屋での直会で、その頭とどんがらで汁を作ってもらい堪能した事など覚えています。

「ひさご」屋のついでに思い出すのは、当時の御馳走で、幾皿も御馳走があるわけではありませんが、心のこもった旬の魚や野菜を変な味つけをしないで素材のうまさで喰わして貰った事など懐かしく思い出します。当時確か食費が300円で、これではとても間に合うまいと、会長と私が茶の間で50円の値上げを申し入れたら、逆に「ロータリーでもうけなくとも良い。唯、皆さんに時々ひさごを利用して頂ければいいんだ」と、返ってダダはんに値上げを断られた思い出があります。

話がわき道にそれましたが、10周年記念として交通安全協会にシグナルとか標識を載せた幼児のための交通安全教育用積載車を寄付致しましたが、ほんの初めだけ2〜3利用されただけで、あとは車庫に入りっぱなしとなり、殆んど有効に利用はされないようでした。これは20周年の記念の噴水もそうです。記念品というものの選択のむずかしさをつくづく考えさせられます。

尚、次の年度は会長が三井徹さん、その義弟故に私は二年続けて幹事を仰せつかりました。

さて、話はとびますが、次には昭和48年に行われた地区年次大会です。当時早坂さんがガバナー、安藤定助さんがクラブ会長、小松広穂さんが幹事というスタッフでした。又、地区では幹事に小池繁治さん、副幹事に三井賢二さん、故高橋正太郎さんで、大会の方は大会委員長が金井勝助さん、副委員長は佐藤伊和治さんと小花盛雄さん、大会幹事が石黒慶之助さん、副幹事に三井賢二さん、高橋正太郎さん、S.A.A.に佐藤忠さんという絢らんたる顔ぶれでした。これで大会が成功しない筈はありません。全くの自画自賛ではなく、大成功であったと思います。特に幹部の方々の御努力でお呼びした三笠宮様の「インダス文明について」の講演は大変な好評でした。但しその接待に当られた金井さん始め幹部の方々のお気使いと気苦労は大変だったと察しております。又、こういう催事の際には高橋正太郎君の才能は全く特異なもので、今地下に眠る彼の最盛期であったような気がします。

私が会長を仰せつかったのは78〜79の年度でし

た。幹事に同級生山口篤之助さんをお願いしました。ガバナーは天童の黒沢茂さんで、何もわからぬ我々を懇切にお教え下さいました。今でも黒沢さんには尊敬と親愛の情が一杯です。私の会長の年度では、なんとといっても54年4月22日に行われたクラブ創立20周年の記念行事です。鶴岡市長、ガバナー、パストガバナー以下の御招待の外、姉妹クラブの台中港区扶輪社からは揚会長以下19名の会員及び夫人、それに同じく姉妹クラブの鹿兒島西クラブからは藤安会長以下16名の多勢の方々の御参加を得まして、産業会館五階ホールで式典、引き続き公園内参集殿で祝宴を催しました。参加人員約220名で、残念乍ら一寸窮屈でしたが、折からの公園の満開のさくらを何よりの御馳走として行われました。20周年記念品としては、先に一寸ふれたように、市にバラ園の中に噴水を寄付致しました。行事に際しましては、大会実行委員長に佐藤忠さんをお願いしまして、総てをお任せしました。佐藤さんは実に綿密な計画を立て、細かなチェックで実行に移され、大成功裡に終わったと思っております。が、なんとといっても圧巻は満開の桜でした。近く4月17日に25周年が同じ参集殿で行われますが、季節の遅れる今年はどうなりますか心配です。

52〜53年度は石黒さんのガバナー年度でした。大方の方は57年10月2日3日の両日に亘って行われた地区年次大会については、思い出も新たな事と思います。石黒ガバナーの下、三井徹大会委員長、佐藤忠大会幹事以下会員一同が打って一丸となり、大成功を修めました。特に草柳大蔵さんの記念講演と郷土出身の若手のホープ加藤絃一代議士、渡部昇一教授及び司会黒沢パストガバナーに依る「日本人の体質と今後展望」の題名に依るシンポジウムは其の質の高さと内容に於て、且てない成功ではなかったかと思えます。

かくて私は、我がクラブは事に当り団結を以って当れば必ず成功する事の確信を持つに至りました。

長々と申し上げましたが、最後に私はロータリーに依り多くの知己を得た事に感謝しております。とにかく我々は職業上の付き合いとか、学校の先輩後輩、或いは近所の付き合いとかに限定された付き合いだけになり勝ちです。ロータリーでは職業を超え年齢を越えて知り合いになれ、友人となれます。これがロータリーの特長であり、一番の有難い処と思っております。私は大正二桁、現在62才です。これからも諸先輩は勿論、若い方々からあらゆるものを吸収しながら、皆様の驥尾に付していきたいと思えますから、一層の御指導の程をお願い致します。

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 佐藤成生君・加藤有倫君

ス マ イ ル

笹原 桂 一君 長女が聖心女子大学へ合格されて。
石黒慶之助君 クアラルンプールに住んでいる初孫が現地の高校でなく日本の日本女子大附属高校へ合格されて。
鈴木弥一郎君 孫が明治薬科大学へ合格されて。
(今週の担当者 秋野 忠)